

**2019年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
免許状更新講習**

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な体験活動の指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

2. 事業の概要

(1) 期日

2019年8月15日（木）～8月17日（土） 2泊3日（日帰り参加可）

(2) 参加者

① 募集対象・人数

小学校教諭（幼稚園教諭・中学校教諭・高等学校教諭も受講可）・35人

② 参加人数

33人

(3) 講師等

① 講義1・実習1「体験活動の導入とその指導法」

講師：川埜 誠（国立吉備青少年自然の家 次長）

② 実習2「火起こし体験と野外炊事の理論と実践」

講師：乗本 雅彦（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職）

③ 実習3「カッター活動の教育効果と実習」

講師：西山 一之進（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職）

④ 講義2「教育の現状と課題」

講師：川上 慎治 氏（岡山県教育庁義務教育課 課長）

⑤ 実習4「オリエンテーリングの指導法と実践」

講師：乗本 雅彦（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職）

⑥ 講義3「集団宿泊体験活動の企画・運営」

講師：高藤 佳明（国立吉備青少年自然の家 所長）

⑦ 講義4「体験活動の意義と学習指導要領」

講師：杉田 洋 氏（國學院大學 人間開発学部 教授）

(4) 企画・運営のポイント

- ① 昨年度の免許状更新講習に参加された方々に、受講しやすい期日のアンケートを取り、日程を決めていった。
- ② 講義の内容がつながるように、体験を踏まえながら、活動プログラムの順番を工夫した。

3. 活動の内容等

(1) 日程

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----------|----------|----|-----------|------------------------------|----------|-------------------------------|--------------------|------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|----|----|----------------|----------|----|----|
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 8/15 (木) | | | | 受付 開講式 | 講義・実習 「体験活動の導入と その指導法」 | | 実習 「火起こし体験と野外炊事の 理論と実践」 | | | 休憩 「カッター 活動の教育 効果と 実習」 | 講義 「集団宿泊体験活 動の企画・運営」 | 夕食 | 入浴 | 情報交換会 自習・休憩 | 就寝 準備 | 就寝 | |
| 8/16 (金) | 起床 洗面 | 朝の 朝食 | 清掃 | 所内 移動 | 講義 「教育の現状と 課題」 | 休憩 | 昼食 | | 実習 「オリエンテーリングの 指導法と実践」 | | 実習 「カッター活動の教 育効果と 実習」 | 夕食 | 入浴 | 情報交換会 自習・休憩 | 就寝 準備 | 就寝 | |
| 8/17 (土) | 起床 洗面 | 朝の 朝食 | 清掃 | 所内 移動 | 講義 「体験活動の意義と 学習指導要領」 | 自習 休憩 | 昼食 | 評価 「履修認 定試験」 | 閉 講式 | | | | | | | | |

※台風の影響により、予定を入れ替えて実施した。

(2) 活動の状況



【体験活動の導入とその指導法】



【体験活動の導入とその指導法】



【体験活動の導入とその指導法】



【火起こし体験と野外炊事の理論と実践】



【火起こし体験と野外炊事の理論と実践】



【集団宿泊体験活動の企画・運営】



【集団宿泊体験活動の企画・運営】



【教育の現状と課題】



【オリエンテーリングの指導法と実践】



【カッター活動の教育効果と実習】



【カッター活動の教育効果と実習】



【体験活動の意義と学習指導要領】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① カッター活動のおもしろさを改めて感じました。
- ② 様々な体験をすることで、喜びもありこれを子供たちに伝えたい。
- ③ 杉田先生や川上先生の話を知ると、「教育とは何を子供たちに教えるか」ということがわかり、教員の仕事の重要性を感じました。
- ④ 今回の講習を受けて、改めて友達との協力の大切さ、自然の中での体験活動が大切ということ。そして何か活動をしたら、必ず振り返ることということが大切だと感じました。

- ⑤ この仕事に就けて良かったと再認識しました。
- ⑥ 今までとは違った世界が広がった気持ちが出て、違う視点でこれからの仕事に臨もうと思いました。
- ⑦ 3日連続で行われることで、初めてお会いする方とも話ができ、ただ履修して終わりではなく、人とのつながりや喜びを味わうことができました。
- ⑧ 18時間中の座学と体験のバランスが絶妙でした。(50代にも無理のないものであった。)

(3) 成果

- ① 免許状更新制度の目的を反映させるために、体験活動の意義を理解できるプログラムを構成したことで、今後の教育現場につながる講義内容や実践につながる体験をすることができた。
- ② 10年後の対象者となることから、異年齢の参加者が集り、それぞれが抱える教育課題や関心事について深まる情報交換を行うことができたようである。
- ③ 参加者が3日間一緒に過ごすことにより、一体となり有意義な活動になった。

(4) 今後の課題

- ① 日帰りは参加しやすい面もあるが、やはり宿泊することにより体験活動の大切さや人とのつながりの意義を感じられるので、宿泊できる魅力を発信していく必要がある。
- ② 今回は台風が接近して、実施できるかどうかの判断の基準をはっきりしていなかったため、準備段階よりある程度、参加者にもわかるようにはっきりしておく必要がある。

担当:企画指導専門職 西山 一之進